セルケア®2

ツーピースオストミーシステム

取扱説明書

●ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、商品の特性を十分に理解してからご使用ください。
●常に、この取扱説明書はお手元に置き、必要に応じてお読みください。

アルケア株式会社　お客様相談室
フリーダイヤル0120-770175
（土・日・祝日を除く　午前9:00～午後5:30）
ホームページからもお問い合わせいただけます。
http://www.alcare.co.jp

ALCARE

はじめに

《セルケア2》は、排泄物を溜めるストーマ袋と、
皮膚に固定する粘着部分の面板が独立した
二品系（ツーピース）装具です。
面板はあらかじめカットされたプレカットタイプを標準とし、
ストーマ袋は生活のシーンに合わせて選択ができます。
安全にお使いいただくため、用途以外の使用はせず、
この取扱説明書に従いご使用ください。
なお、商品についてご不明な点は
アルケア株式会社 お客様相談室まで
お問い合わせください。

セルケア2の種類と各部の名称

●面板

F フラット面板 交換目安:2～5日
取り外し用タブ／剥離フィルムタブ

Fc 凸型面板 交換目安:2～5日
取り外し用タブ／剥離フィルムタブ

凸型面板
ストーマ周囲にシワや凹凸がある方、平坦または陥没ぎみのストーマの方用です。

●ストーマ袋

Df コロ／イレオストミー用
通気回復フィルター／取り外し用タブ／排出口／クリップ

Cf コロストミー用
通気回復フィルター／取り外し用タブ

TDf コロ／イレオストミー用
通気回復フィルター／取り外し用タブ／フラップ／面ファスナー（ループ面）／面ファスナー（フック面）／折り上げライン（青線）／プレート

D キャップ イレオストミー用
逆流防止弁／クリップ／口具／口具キャップ止め具／口具キャップ

U ウロストミー用
取り外し用タブ／逆流防止弁／ダブルロック口具／接続チューブ

TDfをお使いのお客様へ
●面ファスナーのループ面・フック面に潤滑油や水が付着した状態で使用すると、接着力が弱まったり、衣類を汚すおそれがあります。水分や油分を十分に拭き取ってからご使用ください。

●入浴用装具

BC 入浴用キャップ
取り外し用タブ

入浴時などに最適な肌色のコンパクトなキャップです。

使用手順 ▶準備（共通）

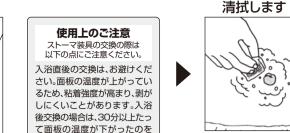
❶必要物品を用意します

●ご使用の面板とストーマ袋●ストーマメジャーまたはカッティングゲージ●石鹸●ガーゼ●ティッシュ●ゴミ袋●ぬるま湯●ハサミ（フリーカットの場合）●細い油性ペン（フリーカットの場合）

❷面板を剥がします ※イラストはFです。

面板の上側を軽く持ち上げ、すき間に指を入れてお腹の皮膚を押さえながら、下向きにゆっくりやさしく剥がします。
＊面板が皮膚に密着して剥がれない時は、剥離剤（プロケアーリムーバーなど）で、皮膚と面板の間を濡らしながら剥がすとよいでしょう。
＊使用済みの面板は、新聞紙などに包み、ゴミ袋に入れてお捨てください。通常、「燃えないゴミ」の扱いですが、地域により異なる場合もありますので、詳しくは各自治体へご確認ください。

使用上のご注意
ストーマ装具の交換の際は以下の点にご注意ください。
入浴直後の交換は、お避けください。面板の温度が上がっているため、粘着強度が高まり、剥がしにくいことがあります。入浴後交換の場合は、30分以上たって面板の温度が下がったのを確認のうえ、行ってください。

❸ストーマ周囲を清拭します

装具を装着する前に、ストーマとストーマ周囲に付着した排泄物をティッシュ等で拭き取ります。その後、石鹸とぬるま湯をしみ込ませたガーゼでストーマ周囲をよく洗います。

この時、粘着を悪くする皮膚表面の油分を十分に取り除くようにしてください。石鹸成分は十分に洗い流すようにしてください。面板が付きにくくなることや剥がれの原因となります。

その後、皮膚をよく乾かします。
＊ドライヤーの熱風はストーマに刺激を与えますので、使用は避けましょう。

●ウロストミーの方の場合
清拭の間にも尿が絶えず出ていますので、ロールガーゼ（ガーゼを丸めてテープで止めたもの）で尿を吸い取りながら清拭を行うとスムーズにできます。

❹面板を貼る位置を確認します

左手側にストーマがある方は、この矢印⬆が上にくるように、貼付してください。
面板裏面（剥離フィルム）
右手側にストーマがある方は、この矢印⇧が上にくるように、貼付してください。
右手側の方は右ストーマ　左手側の方は左ストーマ

剥離フィルムに印字されている矢印に合わせて、面板の方向を確認してください。

使用手順 ▶面板の貼り方 ※フリーカットをご使用の方は①から、プ レカットをご使用の方は④からお読みください。

●フリーカットの場合 ※イラストはFです。

❶ストーマの大きさを測ります
ストーマの大きさを測り、カッティングゲージにストーマと同じ大きさの穴を開けます。穴はゲージの中央に開けるようにしてください。このカッティングゲージは型紙としてとっておきます。
＊ストーマの大きさは変動することがあります。1ケ月に1回は大きさを測り、常に正しいストーマサイズを知っておきましょう。

❷面板に穴を開けます
イラストは左ストーマの方の場合です。
穴を開けたカッティングゲージを裏返し、面板の剥離フィルム側に重ね合わせて、面板に穴の大きさを書き写します。その線よりも1～2mm程度大きめに面板を切ります。
＊この際、ストーマを傷つけないように切り口を指でこすって滑らかにしておきましょう。

❸穴の大きさを確認します
剥離フィルムを剥がす前に面板をストーマにあてて、穴の大きさが適切かどうかを確認します。

このような場合には

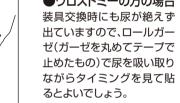
●ストーマ周囲にシワや凹凸がある場合
別売りの皮膚保護剤（板状、ペースト状など）で、皮膚表面を整えてから面板を貼ってください。またはFcタイプの面板をご使用ください。

●平坦または陥没ぎみのストーマの場合
2～3mmのスキマ
面板の穴をストーマより2～3mm大きめに開け、別売りの皮膚保護剤（プロケアーMFパテなど）で、すき間を埋めてください。またはFcタイプの面板をご使用ください。

●フリーカット、プレカット共通 ※イラストはFです。

❹剥離フィルムを剥がします
タブを持って面板の剥離フィルムを剥がします。
＊剥離フィルムに印字されている矢印に合わせて、面板の方向を確認してください。（使用手順 準備の❹参照）
＊ストーマの大きさは変動することがあります。1ケ月に1回は大きさを測り、常に正しいストーマサイズを知っておきましょう。

❺面板を貼り、よく押さえます
面板の上下を確認のうえ、お腹のシワを伸ばすようにして貼付します。面板を貼付したら、皮膚にきちんと付くようにストーマ周囲から外側に向けて、手で押さえながら十分に密着させてください。
＊面板を貼付するときは、皮膚を伸ばし過ぎないようにしましょう。
＊軟膏等は粘着力低下の原因となりますので、併用しないでください。

●ウロストミーの方の場合
装具交換時にも尿が絶えず出ていますので、ロールガーゼ（ガーゼを丸めてテープで止めたもの）で尿を吸い取りながらタイミングを見て貼るとよいでしょう。

このような場合には
●ストーマサイズを計測する場合

ストーマサイズの計測には、パッケージ内のストーマメジャーまたはカッティングゲージをご利用ください。

▶ストーマ袋の装着方法（共通）

❶ストーマ袋の位置を合わせます
ストーマ袋を持ち、面板とおおよその位置で重ね合わせ、上下左右にずれないことを確認します。
＊リング部分に排泄物などが付着している場合は、しっかり取り除いてください。
＊《セルケア2》以外の装具との組み合わせはできません。

❷ストーマ袋をはめ合わせます
リングの位置合わせができたら、親指と他の指ではさむようにして、指を移動させながらはめ合わせます。

最後に、袋の上からリングをなぞったり、軽く袋を引っ張るようにして、はめ合わせが正確にできていることを確認してください。

❸ストーマ袋の外し方
ストーマ袋の取り外し用タブをストーマ袋と一緒に持ち、もう一方の手で面板側の取り外し用タブを押さえながら、ゆっくりストーマ袋をめくるように外してください。
＊使用済みのストーマ袋は、排泄物をトイレに流した後、新聞紙などに包み、ゴミ袋に入れてお捨てください。通常、「燃えないゴミ」の扱いですが、地域により異なる場合もありますので、詳しくは各自治体へご確認ください。

▶排出口の開閉方法 <Dfの場合>

●Dfの排出口の閉じ方

❶クリップを開きます
図のようにストッパーを押しながら引き上げて、クリップを開きます。

❷ストーマ袋を巻きつけます
引き上げたアーム部分にストーマ袋のクリップラインを合わせて一重に巻きつけます。
＊クリップのカーブが体に合うように向けてください。

❸クリップを閉じます
ストッパーを押しながらクリップを閉じます。
＊最後にクリップがきちんと閉じているか確認してください。

●Dfの排出口の開け方／排出方法

❶クリップを外します
しっかりとストーマ袋を押さえ、クリップのストッパーを押しながら引き下げてクリップを外します。
＊ストーマ袋を押さえておくことで、クリップを外した際に、急に便が排出されることを防ぎます。

❷便を排出します
ストーマ袋の先端に便が付着し、臭いモレの原因にならないように、排出口を外側に折り返します。排出口を下に向けて、ストーマ袋内の便を排出します。
＊ストーマ袋の折り返しがしやすいように裾広がりのベルボトム形状になっています。

❸ストーマ袋の先端をクリップで止めます
便の排出が済んだら、排出口部分をトイレットペーパー等で拭き、折り返しを戻し、またクリップで止めます。

▶排出口の開閉方法 <TDfの場合>

●TDfの排出口の閉じ方

❶末端を折ります
末端のプレートを手前に4回折り上げてください。
＊折り上げにゆるみやシワがあると、便や臭いモレの原因になります。

❷面ファスナーのフック面が表になります
折り上げラインに沿って、折り上げると面ファスナーのフック面が表に出てきます。

❸フック面にループ面を重ねます
フック面にフラップのループ面を重ねてからしっかりと押し付けてください。

●TDfの排出口の開け方／排出方法

フラップ部分

❶フラップ部分を剥がします
片手でプレート部を持ちながら、フラップを左右いずれかの端から注意深く持ち上げて剥がしてください。

❷折り上げた部分を開きます
排出口を上に向けながら、折り上げた部分を順番に開いてください。最後まで開き、末端のプレートをV字に折り曲げると排出口が開いた状態で保持され、排出と拭き取りが容易にできます。
＊V字にしっかりと折って、クセをつけます。

❸便を排出します
ゆっくりと排出口をトイレに向け、便を排出してください。
＊排出口付近に便が残っていると、便や臭いのモレが発生することがありますので、排出口付近はきれいに拭き取ってから閉じてください。

▶排出口の開閉方法 <D キャップの場合>

●D キャップの排出方法／排出口の閉じ方

❶キャップを外します
排出口を上に向け、便が出てこないように注意しながらキャップを外します。

❷便を排出します
キャップを口具キャップ止め具に止め、排出口をトイレに向けて便を排出します。
＊排泄物に残りかすが多い場合には、口具部分を指先で押して、便をしぼり出してください。

❸キャップを閉じます
排出が終わりましたら、排出口部分をトイレットペーパー等で拭き、キャップを付けます。

このような場合には

●排泄物に残りかすが多く、詰まりやすい場合
排泄物に残りかすが多く、詰まり等によって、口具部分からの排出が困難な場合は、口具の上方をカットして、下部開放型ストーマ袋として使用することができます。

下部開放型ストーマ袋として使用する場合は、付属のクリップをお使いください。
＊クリップの使い方は「排出口の開閉方法 <Dfの場合>」をご覧ください。

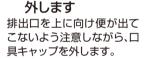
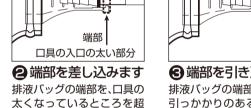
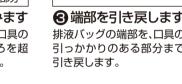
●ストーマ袋内の便が流れ落ちにくい場合
逆流防止弁に繊維状の固形物が引っかかり、便が流れ落ちにくい場合は、逆流防止弁の上あたりから下へしぼり出してください。

▶排液バッグとの接続方法 <D キャップの場合>

就寝時など、排液バッグを併用される場合、下記の通り接続してください。

❶口具キャップを外します
排出口を上に向け便が出てこないよう注意しながら、口具キャップを外します。

❷端部を差し込みます
排液バッグの端部を、口具の太くなっているところを超えるまで差し込みます。

❸端部を引き戻します
排液バッグの端部を、口具の引っかかりのある部分まで引き戻します。

排液バッグ（別売商品）のご紹介
※別売の<排液バッグ>（当社製品）の場合、バッグの先端が口具にぴったりフィットし、確実な固定が可能です。

使用上のご注意
排液バッグに接続の場合、詰まりにご注意ください。
排泄物が泥状の場合など、排液バッグのチューブ部分に詰まり、流れにくい場合があります。流れが悪い場合、排液バッグの併用はお避けください。

使用手順 ▶排出口の開閉方法 <Uの場合>

●排出口の閉じ方／開け方

❶キャップを外します
二重ロックされていること（上から見て左廻り方向に回転しないこと）を確認して先端のキャップを外します。
＊ロックされている状態では尿はまだ出てきません。

❷尿を排出します
操作つまみを縦線のある方向（上から見て右廻り方向）に180°回転させます。
＊この時、尿の排出が行われます。

❸キャップを付けます
排出が終わりましたら、操作つまみを元に戻し、次にキャップを付けます。
＊キャップを先に閉めると、先端部分に尿が残りやすくなりますので、ご注意ください。

●接続チューブの使い方

・接続チューブは、夜間など他の蓄尿バッグが必要な時にお使いください。
・接続チューブご使用時は、チューブのねじれや折れにご注意ください。

●接続チューブの付け方

カチッ
接続チューブ

❶コネクターを差し込みます
付属の接続チューブに、ご使用になる蓄尿バッグのコネクターを差し込みます。

❷接続チューブを差し込みます
次に、キャップのみを外したウロストミーパウチに、接続チューブを"カチッ"と音がするまで強く差し込みます。この時、接続チューブのツメ部分が口具側のカサ部分にしっかりと掛かっていることを確認します。

❸操作つまみを回転させます
最後に操作つまみを縦線のある方向（上から見て右廻り方向）に180°回転させると、接続チューブ、蓄尿バッグへ導尿されます。
＊別売の<採尿バッグ>をご使用の場合、この接続チューブは必要ありません。

●接続チューブの外し方

❶導尿を止めます
操作つまみを180°（上から見て左廻り方向）回転させ、ウロストミーパウチから接続チューブ、蓄尿バッグへの導尿を止めます。

❷接続チューブを引き抜きます
接続チューブのハネ部を指で挟み、ツメのロックを外してから（イラスト①）、ゆっくり接続チューブを引き抜きます（イラスト②）。

❸キャップを付けます
ウロストミーパウチの排出口にキャップを付けます。

通気回復フィルターについてのご注意

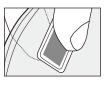
●TDf/Df/Cf/D キャップをお使いの場合 ※イラストはCfです。

フィルターカバーシール

フィルターは、ストーマ袋内に溜まったガスが徐々に抜けるようになっています。
＊なお、フィルターは、ストーマ袋内の排泄物がフィルターを通って外に染み出すことがない構造になっていますので、安心してご使用いただけます。

重要 以下のような場合は、パッケージ内のフィルターカバーシールを貼って、通気孔をふさいでください。

❶ガスが抜けすぎる時
ガスが抜けすぎると、真空状態のようになり、ストーマから排出された便が袋の中に落ちず、ストーマ周囲に貯留してしまうことがあります。このような場合は、パッケージ内のフィルターカバーシールを貼って、通気孔をふさぎ、ストーマ袋内にガスがたまるようにしてください。ストーマ袋内にガスがたまったらシールを剥がして、手で軽くストーマ袋を押してガスを出してください。

❷入浴の時
入浴時に外側からの水がフィルターに触れると活性炭が水を吸収してしまい、入浴後に活性炭を含んだ水が染み出すことで衣服を汚してしまう原因となります。
＊ストーマ袋を装着して入浴した場合には、入浴後、乾いたタオル等でストーマ袋に付いた水分を拭き取るようにしてください。

このような場合には
●ご使用中に"ガスがスムーズに抜けない"と感じたら
・フィルターに排泄物の付着が見られる場合は、こするようにして拭い、取り除いてください。
・フィルターを表側と裏側から指でつまんで、2～3回圧縮してください。

【使用上の注意】や【保管上の注意】では、危険度に応じ て次の区分をしています。

注意…………誤った取扱いをすると、人が軽度の損傷を負ったり、物的障害の発 生が想定される内容を示します。

ご使用前には、医師または看護師の指導を受けたうえ、注意事項を熟読し、本品の特性を 十分理解してください。
誤った取扱いを行うと排泄物のモレが発生し、モレによる皮膚炎の原因ともなります。万 一、肌に合わない時は使用を中止してください。

使用上の注意

注　意

●ストーマ周囲には軟膏等、粘着力の低下の原因となるものは塗らないでください。粘着力低下によるモレの原因となります。（被膜剤も、その特性上、粘着力に影響を与える場合があります。お使いの場合は、被膜剤の取扱説明書をよく確認のうえ、ご注意ください）
●剥離フィルムを剥がした面板の表面には、指などが触れないようにご注意ください。粘着力低下によるモレの原因となります。
●一度剥がした面板をもう一度貼るのはお止めください。粘着力低下によるモレの原因となります。
●ストーマ袋内を洗浄して、繰り返し使用することはお止めください。袋の破損によるモレの原因となります。
●装具を装着状態で折りまげないでください。ストーマ袋の穴あきによるモレの原因となります。
●面板の粘着面が冷たくなっていると、貼り付きが悪い場合がありますので、暖かい部屋に移し、全体が温まってからご使用ください。
●フリーカットの場合、面板に開ける穴は、定められたカットラインを越えて切らないでください。面板からのモレの原因となります。
●排泄物はストーマ袋に溜めすぎないようにし、1/3くらい溜まったらお捨てください。溜めすぎると重みによる剥がれの原因となります。
●装具の使用日数が長くなると、粘着力低下によるモレの原因となりますので、ご注意ください。装具の交換日数は、発汗や排泄物等により異なりますが、2～5日が目安です。
●万一、肌に合わない時は使用を中止し、医師または看護師にご相談ください。

保管上の注意

注　意

粘着力不足など品質劣化の原因となりますので、保管の際は次のことを避けてください。
●高温（40°C以上）・多湿の場所での保管
●温度の低い場所（冷蔵庫など）での保管
●直射日光があたる場所での保管
●圧迫がかかる場所での保管
●大量購入による長期保管
＊箱に記載されている使用期限を必ずご確認ください。
●面板の剥離フィルムを剥がしての保管

廃棄上の注意

注　意

使用済みのストーマ装具は、排泄物をトイレに流した後、新聞紙などに包み、ゴミ袋に入れてお捨てください。装具は通常「燃えないゴミ」の扱いですが、地域により異なる場合もありますので、詳しくは各自治体へご確認ください。

セルケア2の種類と規格

●面板

種類		商品コードNO.	穴の大きさ（直径）	ストーマ有効径	面板サイズ（縦×横）	適応ストーマ袋サイズ	1函入数
F	Mフリー	18251	10mmφ	4～39mm（フリーカット）	88mm×88mm	M	5枚
	M16	18661	16mmφ	12～15mm			
	M19	18662	19mmφ	15～18mm			
	M22	18252	22mmφ	18～21mm			
	M25	18253	25mmφ	21～24mm			
	M28	18254	28mmφ	24～27mm			
	Lフリー	18255	10mmφ	4～49mm（フリーカット）	98mm×98mm	L	
	L32	18256	32mmφ	27～31mm			
	L36	18257	36mmφ	31～35mm			
	L40	18258	40mmφ	35～39mm			
	LLフリー	18259	10mmφ	4～69mm（フリーカット）	118mm×118mm	LL	
Fc	M13	18387	13mmφ	9～12mm	100mm×100mm	M	
	M16	18388	16mmφ	12～15mm			
	M19	18389	19mmφ	15～18mm			
	M22	18381	22mmφ	18～21mm			
	M25	18382	25mmφ	21～24mm			
	M28	18383	28mmφ	24～27mm			
	L32	18384	32mmφ	27～31mm	110mm×110mm	L	
	L36	18385	36mmφ	31～35mm			
	L40	18386	40mmφ	35～39mm			

●ストーマ袋と入浴用キャップ

種類		商品コードNO.	袋サイズ（縦×横）	1函入数
TDf 透明	M	18261	300mm×150mm	10枚
	L	18262		
	LL	18263		
TDf 肌色	M	18671	300mm×150mm	
	L	18672		
Df	M	18271	300mm×150mm	
	L	18272		
	LL	18273		
Cf	M	18281	210mm×150mm	
	L	18282		
D キャップ	M	18911	346mm×148mm	
	L	18912		
	LL	18913		
U	M	18681	260mm×150mm	
	L	18682		
BC	M	18291	ドーム高さ20mm	2コ
	L	18292		

アルケア株式会社
〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル19階
0508-1111/4